

平成26年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校  
研究開発課題及び研究開発の概要

学校名	研究の概要
<p>宮城県 のうぎょう 農業高等学校  (農業)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> 「日本最古の農業高校 震災・津波から復活の取組み！地域で活躍する就農者増加に向けて」 ～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～</p> <p><b>【研究開発の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学科（農業科、園芸科、生活科、食品化学科、農業機械科）の特徴を生かした、魅力ある農業モデルの学習プログラムを策定し、就農に向けた実践力を育成する。</li> <li>就農者育成に向けて、農業を担当する教員の技術力やその実践力の向上のため、農家・農業法人での研修（一人10か所）を行い、復興を支える志のある生徒を育成する。</li> <li>就農者を育成するため、農業の魅力について生徒、保護者に積極的な情報提供を行うとともに、他教科の教員に対しても農業の魅力を発信する取組を実施する。</li> </ul>
<p>山形県立 さかたこうりょう 酒田光陵高等学校  (情報)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> 「SKT（サカタ）IT-ACE プロジェクト」 地域や上級学校と連携し、「高度情報テクノロジー（IT）」、「アルゴリズム的思考力（AT）」、「システム創造力（SC）」、「高い志と職業倫理観（IE）」の4つを習得し、「世界を変える・未来を変える『IT技術者』の育成」を目指す研究。</p> <p><b>【研究開発の概要】</b></p> <p>学科「情報科」において、産業界や上級学校と連携して人材やスキルの提供を受け、教育内容を高度化し、高度情報化社会や情報産業に資する人材を育てていくこととし、以下3点の目標を設定して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 次世代の想像をリードしていく「IT技術者」の育成</li> <li>イ 高度情報技術者を輩出するための教育プログラムの研究</li> <li>ウ 地域からの「IT技術者」の発掘</li> </ul>
<p>埼玉県立 とまわ 常盤高等学校  (看護)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> 5年一貫教育の特徴を生かした、看護専門職者を育成するための先進的なプログラムの研究開発 ～「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」と「生涯学び続ける力」を育てるために～</p> <p><b>【研究開発の概要】</b> 「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」の育成を三つの柱とし、さらにこの三つを総括した「生涯学び続ける力」を育て、社会の第一線</p>

	<p>で活躍できる専門的職業人を育成することを目的に、以下の内容に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理に関する活動・講演会、被災地ボランティア</li> <li>・デジタルコンテンツを用いた e-ラーニングによる授業</li> <li>・病院・企業との連携による授業の開発</li> <li>・実験的要素を含んだ授業展開</li> <li>・プロジェクト学習（PBL：Project-Based Learning）</li> </ul>
<p>石川県立 工業高等学校 (工業)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> 高等教育機関と連携したフロンティア職業人育成プログラムの開発 - 大学院レベルの先端科学技術への挑戦 -</p> <p><b>【研究開発の概要】</b> 北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）等の高等教育機関との連携を通して、高度な知識、技術及び技能に対する情熱とモチベーションを高め、自ら社会の変化や先端科学技術に対応できる将来の専門的職業人を育成するため、高度な内容を含む教育活動を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先端科学技術につながる基礎実習等を取り入れた授業を行う。</li> <li>2. ゼミナール活動やプロジェクト活動を通じて、「論理的に考え判断する力」「学ぶべきものを見いだす力」「ゴールから課題を見据える力」を育成する。</li> <li>3. 学問の本質・奥深さ・産業との結びつき等に触れさせる場面や、創造的な研究の醍醐味（だいごみ）を味わわせる場面を設定する。</li> </ol>
<p>岐阜県立 岐阜商業高等学校 (商業)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> 『会社設立・経営を通して実践力・創造力・起業家精神を身に付け、グローバルに活躍するビジネスリーダー育成プログラム』 ～ Be the CEO Project（「生徒全員が社長」プロジェクト）～</p> <p><b>【研究開発の概要】</b> 会社の設立、経営活動など実践的なビジネスの諸活動を、生徒一人一人が倫理観や経営者であるという自覚をもって主体的、合理的に行い、地域の産業の発展を図る創造的な能力、課題発見力・課題解決力、起業家精神を育成する教育プログラムを実施する。</p> <p>海外の商業高校と共同ビジネス活動を推進することを通して、高い語学力を育成するとともに、異なる文化と多様な価値観（Diversity）を理解し、多様な人々と共同でビジネス活動を行う包容力（Inclusion）を育成する。</p> <p>県内外の専門高校と連携し、商品開発や共同実習を通して、高校版「総合商社」を目指すとともに、日本の商業教育をリードする高いポテンシャルを有する専門高校へと高校改革を推進する。</p> <p>企業・大学・研究機関等と連携し、先端的な知識・技術を習得するとともに県内産業の活性化や日本経済の発展に貢献する学校を目指す。</p>

<p>静岡県立 やいづすいさん 焼津水産高等学校  (水産)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b>          漁業・水産業及び、水産物流通の高度化・グローバル化に対応した、我が国の水産業界をリードする専門的職業人の育成          ～育成プログラムを通した水産高校の先進的教育課程の研究～</p> <p><b>【研究開発の概要】</b>          消費者ニーズや社会の動向を客観的に把握する能力を身に付けさせるとともに、漁獲、加工、流通、消費までを一つの産業として捉え、これらをマネジメントする能力を備えた次代の漁業・水産業においても活躍できる人材の育成を図り、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理に関する研修や産業現場における就業研修</li> <li>・漁場予測と安定的で持続可能な漁船漁業経営、起業家精神育成を目指した企業経営の実践研究</li> </ul>
<p>愛知県立 とよたこうぎょう 豊田工業高等学校  (工業)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b>          将来の日本のものづくり産業の柱となる航空宇宙産業・次世代自動車産業を担う中核的専門人材を育成するため、地域、企業、大学等と連携し、グローバルメジャーの一員として活躍できるスーパー技術者の育成を戦略的に推進するための研究開発を行う。</p> <p><b>【研究開発の概要】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究開発課題に照らした特色ある教育課程の編成、及び、科目「実習」の指導内容や評価手法の精選</li> <li>2. 研究開発課題に照らした外部機関と連携した科目「課題研究」の実践、長期の就業体験実習の実施</li> <li>3. 専門的な技術用語を活用できる能力と態度の育成、留学生との交流</li> <li>4. スーパー・サイエンス・ハイスクール校（愛知県立豊田西高等学校）との連携、工業科以外の学科(農業科等)との特色ある取組の融合</li> </ol>
<p>兵庫県立 にしわか 西脇高等学校  (家庭)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b>          cool Japan cool Bansyuori          - 播州織再発見と西脇産ブランド発信 -          播州織生産の最先端技術を身に付け、社会の変化や消費者ニーズに対応したオリジナルブランドを作成し、播州織の魅力を海外に発信できる将来のスペシャリストを育成する。</p> <p><b>【研究開発の概要】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 播州織産地としての伝統ある織物や昔ながらの職人技を習得し、世界に誇る技術や日本の織物文化を理解するとともに、企業で使用している組織織制作コンピュータシステムを導入し、播州織生産の最先端技術を身に付ける。</li> <li>2. 社会の変化や消費者ニーズに対応した、「売れる商品」の企画立案に向けて、播州織製品をプランニング、デザイン、リサーチ、マーケティング、プロ</li> </ol>

	<p>デューズする力を身に付ける。</p> <p>3. 地域の播州織技術と日本文化や西脇の織物文化を融合させたオリジナルブランドを、NSHブランド(西脇生活情報科ブランド)として海外に発信する。</p> <p>4. 播州織でつながる町やコミュニティづくりに取り組む。</p>
<p>兵庫県立 たつのきた 龍野北高等学校  (福祉)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> ソリューションフォーカスの視点に立つスーパー・プロフェッショナル・ケアワーカーの育成</p> <p><b>【研究開発の概要】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域や他の教育機関と連携し、生徒が主体となって機能回復・機能維持・介護予防のためのレクリエーション企画運営や介護の知識・技術の提供を行い、思考力や表現力、判断力を養う。</li> <li>2. 看護科(専攻科)と合同で医療的ケアについて学び、実際の医療・介護現場を想定した連携方法の実践を行い、相互理解を図る。また、初任者研修を行っている学校の指導教員を、外部講師のサポートのための医療的ケア補助要員として育成する。</li> <li>3. 外部の社会福祉関係機関・企業との連携や、他学科との校内連携を図り、車いすファッションショー(Welfare-Collection)などの取組を行う。また、社会福祉士養成大学やNPO法人との協働を通して問題解決志向を養う。</li> <li>4. 一般のケアワーカーが介護技術を競い合う各種競技大会への参加等を通じて高度な介護技術の習得とその指導法を研究する。</li> </ol>
<p>福岡県立 ふくおかのうぎょう 福岡農業高等学校  (農業)</p>	<p><b>【研究開発課題】</b> 都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成</p> <p>～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～</p> <p><b>【研究開発の概要】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 九州大学や九州沖縄農業研究センターと連携し、先端技術を導入した栽培実験・実習により栽培管理技術を向上させる。</li> <li>2. 農業生産法人及び農業関連企業において経営的な視点や自立した農業経営に必要な経営方法を学ぶ。</li> <li>3. 「食の6次産業化プロデューサー」の内容を学習し、栽培技術の向上だけでなく生産物の付加価値を高める企画や広報の在り方を研究する。</li> <li>4. 産業現場で必要な資格を有し、活用できる人材を育成する。</li> </ol>